

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

Cisco Unified IP Phone では、基本的なコール処理機能に加え、コール処理機能を拡張する生産性向上機能が用意されています。設定に応じて、次がサポートされます。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよび Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからのサービス
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアの理解のために、次の図を使用することができます。

Cisco Unified IP Phone 7965G



186422

Cisco Unified IP Phone 7945G



項目	説明	参照先または問い合わせ先
1 プログラマブル ボタン 	<p>設定に応じて、プログラマブル ボタンからは次にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話回線およびインターコム回線(回線ボタン) 短縮ダイヤル番号(短縮ダイヤル ボタン、BLF 短縮ダイヤル機能を含む) Web ベースのサービス(個人アドレス帳ボタンなど) 電話機の機能(プライバシー、保留、転送のボタンなど) <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">  緑、点灯：アクティブ コールまたは双方向のインターコム コールです。  緑、点滅：コールは保留状態です。  オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコムコール、サイレントがアクティブ、またはハント グループにログイン中です。  オレンジ、点滅：コールが着信中またはコールが復帰中です。  赤、点灯：リモート回線が使用中です(共有回線または BLF ステータス)。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話スクリーンの機能について (P.17) 基本的なコール処理 (P.23) 短縮ダイヤル (P.48) 共有回線の使用 (P.54) BLF の使用による回線の状態の判断 (P.58) インターコム コールの発信と受信 (P.46)
2 フットスタンド ボタン	電話機本体の角度を調節します。	ハンドセット受け台の調節(オプション) (P.6)
3 ディスプレイ ボタン 	<p>電話スクリーンをスリープ モードから復帰させます。</p> <ul style="list-style-type: none">  色なし：入力可能な状態です。  緑、点灯：スリープ モードです。 	電話スクリーンのクリーニングと保守 (P.18)

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
4	メッセージ ボタン 	サービスによって異なりますが、ボイス メッセージ サービスに自動ダイヤルします。	ボイス メッセージへのアクセス (P.82)
5	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ] メニューを開閉します。履歴 およびディレクトリにアクセスするために使用します。	履歴の使用方法 (P.74)
6	ヘルプ ボタン 	[ヘルプ] メニューをアクティブにします。	電話機に関するヘルプ システムへのアクセス (P.19)
7	設定ボタン 	[設定] メニューを開閉します。電話スクリーン および呼出音の設定を変更するために使用します。	電話機の設定の変更方法 (P.71)
8	サービス ボタン 	[サービス] メニューを開閉します。	ユーザ オプション Web ページの使用 (P.84)
9	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量 (オフック)、および呼出音の音量 (オンック) を制御します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.67)
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォン モードのオン / オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.67)
11	ミュート ボタン 	マイクロフォン モードのオン / オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。	ミュートの使用 (P.32)
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセット モードのオン / オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.67)

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
13	4方向ナビゲーション パッドと選択ボタン (中央) 	<p>メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。選択ボタンを使用して、スクリーン上で強調表示された項目を選択します。</p> <p>ナビゲーション ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> 上下にスクロールすると、メニューを表示し、項目を強調表示できます。 左右にスクロールすると、複数の列が表示されている場合に水平方向に移動できます。 <p>選択ボタン：ナビゲーション ボタンを使用してスクロールし、行を強調表示してから、次のように使用します。</p> <ul style="list-style-type: none">  を押してメニューを開きます。  を押して呼出音を再生します。  を押してスクリーンに表示されている他の機能にアクセスします。 <p> (注) 選択ボタンでは、操作は実行されません。</p>	履歴の使用方法 (P.74)
14	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	基本的なコール処理 (P.23)
15	ソフトキー ボタン 	各ボタンは、電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	電話スクリーンの機能について (P.17)
16	ハンドセットのライトストリップ	着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	ボイス メッセージへのアクセス (P.82)
17	電話スクリーン	電話機能を表示します。	電話スクリーンの機能について (P.17)

回線とコールについて

回線とコールについて混同しないために、次の説明を参照してください。

- 回線:他の人がコールを発信するために使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。設定に応じて、Cisco Unified IP Phone 7965G は 1 ～ 6 本、Cisco Unified IP Phone 7945G は 1 ～ 2 本の回線をサポートします。電話機の回線を表示するには、電話スクリーンの右側を見てください。回線の数は、電話番号および電話回線アイコン  の数と同じです。
- コール:各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は 1 本の回線につき 4 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線とコールのアイコンについて

電話機には、回線およびコールの状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	コールが保留されています。P.31 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。P.54 の「 共有回線の使用 」を参照してください。
	コールの復帰	保留コールが電話機に復帰しています。P.31 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	認証されたコール	P.60 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.60 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	BLF で監視された回線がアイドル状態	P.58 の「 BLF の使用による回線の状態の判断 」を参照してください。
	BLF で監視された回線が使用中	P.58 の「 BLF の使用による回線の状態の判断 」を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	BLF で監視された回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)	P.58 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
	サイレント状態の回線 (BLF)	P.58 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は使用されていません。P.46 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	一方向のインターコムコール	インターコム回線が一方向のオーディオを送信中または受信中です。P.46 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	双方向のインターコムコール	受信者がインターコム回線を押して発信者との双方向オーディオをアクティブにしました。P.46 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。

電話スクリーンの機能について

次の図は、アクティブなコールと複数の機能メニューが開いているメインの電話スクリーンの概観を示しています。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）を表示します。
2	プログラマブルボタンのインジケータ	プログラマブルボタンには、電話回線ボタン、インターコム回線ボタン、短縮ダイヤルボタン、電話機サービスボタン、また電話機能ボタンとしての働きもあります。アイコンとラベルは、これらのボタンの設定状況を示します。アイコンについては、このガイドの先頭にあるクイックリファレンスカードの「電話スクリーンのアイコン」を参照してください。
3	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。
4	ステータス行	オーディオモードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コールアクティビティ領域	発信者ID、通話時間、および標準の表示で強調表示されている回線のコールの状態など、回線ごとの現在のコールを表示します。P.15の「回線とコールのアイコンについて」およびP.34の「複数のコールの表示」を参照してください。
6	電話タブ	コールアクティビティを示します。
7	機能タブ	各タブは、開いている機能メニューを示します。P.19の「機能ボタンおよびメニューについて」を参照してください。

電話スクリーンの項目の選択

電話機のスクリーン上の項目を選択する方法には、次の2つがあります。

電話スクリーンの項目の 選択方法	操作
項目番号を指定する	キーパッドで該当する番号を押します。たとえば、メニューの4番目の項目を選択するには、 4 を押します。
項目までスクロールする	ナビゲーション ボタンを使用して、項目を強調表示します。選択ボタンを押して項目を選択するか、ソフトキーを押して操作を終了します。

電話スクリーンのクリーニングと保守

電話スクリーンを拭く場合は、乾いた柔らかい布だけを使用してください。液体や粉は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

スリープモードからの電話スクリーンの復帰

電話スクリーンをスリープモードから復帰させることができます。

目的	必要な操作または状態の説明
電話スクリーンをスリープモードから復帰させる	任意のボタンを押すか、ハンドセットを取り上げます。 非アクティブのまま一定期間（システム管理者が決定）が経過すると、節電のために電話スクリーンがスリープモードに入ります。このモードでは、電話スクリーンには何も表示されず、ディスプレイボタン  が点灯し続けます。

機能ボタンおよびメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューの開閉を行います。

目的	必要な操作または状態の説明
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。  メッセージ  サービス  ヘルプ  ディレクトリ  設定
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーションボタンを押します。
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了]を押します。メニューの最上位レベルで[終了]を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	電話機の機能ボタンを押します。

電話機に関するヘルプシステムへのアクセス

電話機には、包括的なオンラインヘルプシステムが備わっています。ヘルプの項目は電話スクリーンに表示されます。

目的	必要な操作または状態の説明
メインメニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。メインメニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none">• Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細な説明• 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順• コール機能：コール機能に関する説明や手順
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すぐにボタンまたはソフトキーを押します。

目的	必要な操作または状態の説明
メニュー項目を確認する	<p>①を押し、電話スクリーンのメニュー項目をすばやく押します。または、メニュー項目が強調表示された状態で②をすばやく2回押します。</p>
ヘルプを使用してヘルプを表示する	<p>①を押します。数秒後に②を再度押すか、メインメニューから【ヘルプ】を選択します。</p>

機能のアベイラビリティについて

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

機能にアクセスするには、ソフトキーを使うか回線ボタンを押します。機能の一部はユーザが設定できますが、大部分はシステム管理者が制御します。

次に、機能にアクセスするためのソフトキーと回線ボタンの使用方法について詳しく説明します。

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
コールバック	折返し	折返し 
コール転送	不在	不在転送 
コール パーク	パーク	パーク 
コール ピックアップ	ピック	ピック 
会議	会議	会議 
会議リスト	参加者	会議リスト 
サイレント	サイレント	サイレント  または サイレント 
コールの終了	終了	コールの終了 
グループ ピックアップ	G ピック	グループピックアップ 
保留	保留	保留 
ハント グループ	ハント	ハントグループ  または ハントグループ 
迷惑呼 ID	迷惑呼	迷惑呼 ID 
ミーティング	ミーティング	ミーティング 
モビリティ	モビリティ	モビリティ 
発信	発信	発信 
他のグループのピックアップ	他 Grp	その他のグループ ピックアップ 
品質レポート ツール	品質	品質レポートツール 
リダイヤル	リダイヤル	リダイヤル 
最後の会議参加者の削除	ドロップ	最後の参加者の削除 
転送	転送	転送 
ビデオ モード コマンド	ビデオ	ビデオ 

SIP と SCCP の違いについて

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリングプロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

電話機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。